

がん教育に関する事前・事後アンケート結果まとめ

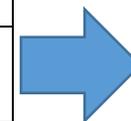
がんに対するイメージや関心等についての質問

受講前と受講後の数値に大きく変化していることがわかります。イメージ関心、知識理解についても講話は非常に効果的だったと考えます。

講話前

講話後

質問	そう思う	思わない	わからない
① がんは身近な病気だと思う	81%	9%	10%
② 「がん」＝「死」のイメージである	63%	27%	10%
③ がん検診を受けられる年齢になったら、積極的に検診を受けようと思う	58%	7%	35%
④ がんを学ぶことでがん患者への理解が深まると思う	80%	7%	13%
⑤ 家族や身近な人とがんについて話し合おうと思う	29%	27%	44%



そう思う	思わない	わからない
96%	1%	3%
29%	60%	11%
80%	2%	18%
86%	6%	8%
59%	8%	33%

がんに対する知識・理解についての質問

質問	そう思う	思わない	わからない
① 体の中で異常な細胞が増えてしまう病気である	69%	9%	22%
② がんになる原因は1つだけである	1%	85%	14%
③ がんは特定の人がかかる病気である	4%	84%	12%
④ がんは一生のうち2人に1人がかかる病気である	68%	9%	23%
⑤ 生活習慣を改善することで、がんをある程度予防することができる	80%	6%	15%
⑥ がんの早期発見には、検診が必要である	95%	0%	5%
⑦ がんの治療には、手術・放射線・抗がん剤の方法がある	79%	2%	19%
⑧ がんの痛みは我慢するしかない	9%	56%	35%



そう思う	思わない	わからない
87%	2%	11%
1%	96%	3%
3%	93%	4%
86%	5%	9%
94%	1%	5%
97%	0%	3%
97%	0%	3%
5%	73%	21%